

日本防災士会 千葉北

第 36 号 2019 年 4 月 1 日発行

今号の内容

- 支部長挨拶 1
「支部設立 10 周年を迎えるにあたり」
- 北部支部 10 年の歩み 2
- お知らせ 8
- 新会員紹介 8
- 支部会員さん紙上インタビュー 9
中村あや子さん
- 会員短信 平山優子さん 10
- 北部支部の防災支援活動 11
- 編集後記 11

支部長挨拶



支部長 中村 誠

支部設立 10 周年を迎えるにあたって

平成 31 年度のスタートに際してご挨拶申し上げます。

当北部支部は本年 4 月 18 日に設立 10 周年を迎えることとなります。設立時には防災活動も年数件で会員数も 27 名程度でしたが、近年は活動件数が年間 100 件を超え、会員数も大幅に増加し今日現在 133 名が在籍しています。これもひとえに会員の皆様のご支援とご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

当支部では地域防災力向上のために、千葉県や市町村と連携しながら県の災害対策コーディネーターのスキルアップ支援、各地の自主防災組織、自治会などの防災リーダーの養成を目的とする防災講演会、防災講習会・訓練などを種々に行って参りました。その結果、近年では支援要請が急増し会員の皆様には多大な負担をおかけしており、この

まま支援要請が増え続けると対応が難しくなるのではないかと危惧され対応策を検討しています。

一方、日本防災士会は平成 30 年度の事業計画において、地域防災力の向上のために自主防災組織の活性化、防災リーダーの育成を目指した防災意識の普及と啓発の事業を進めています。特に地区防災計画の推進を最大の目標として掲げ、各支部に対して地区防災計画の一層の推進を求めています。千葉県内の地区防災計画は進んでいる状況ではありません。当支部の本年度の事業計画においては、新たに地域防災リーダーの育成を目指すことにより地域防災力の向上に寄与して参りたいと考えています。

このような状況の中で設立 10 周年の記念事業を種々検討しました結果、今後の支部活動にも反映できるよう、我が国の防災研究の第一人者で関西大学特任教授の河田恵昭先生をお招きし 6 月 1 日（土）に『「国難に備える！」～巨大地震に立ち向かう民間防災の力～』と題して講演会を開催することになりました。今回の記念講演会は当支部の主催ではありますが、特定非営利活動法人日本防災士機構、特定非営利活動法人日本防災士会の共催を得ています。また千葉県と松戸市福祉協議会などの後援も得ました。会場は約 500 名を収容できるため、県内の防災士、災害対策コーディネーターなどの防災関係者に広く参加を呼びかける予定です。この講演会は当支部がこれまでに行って参りました諸活動の中では最大の行事となります。会員の皆様、関係者の皆様のご支援とご協力をいただきぜひ成功させたいと考えておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

北部支部 10 年の歩み

設立

2009 年 4 月 18 日支部設立総会で千葉県北部支部が誕生しました。会員数は 27 名で小村貴司防災士が初代支部長に就任し、会員それぞれが地域に根ざした防災活動が出来ることを目的に活動を開始しました。広い千葉県内では房総地域と、都心通勤者が多く東京湾北部地震の予想震源に近い北西部地域とでは災害事情や意識も異なります。北部支部の設立にはそうした事情が背景にありました。



設立総会参加者

初期の活動

支部の活動は講師を招聘しての防災勉強会から始まり、市民の防災意識啓発のため街頭での防災グッズや資料の配布などを月1回程度の頻度で行いました。

会報の発刊

設立翌年の2010年6月に支部会報「防災千葉北部」が発刊されました。会報第1号では第2回の支部定期総会で①会員のスキルアップ研修、②行政等の防災活動への協力、③広報活動などの年間計画が提案され承認されたことが報じられています。この年は月1回程度の頻度で行事予定が組まれています。その中で特筆すべき事として船橋市の防災課に協力し「中学生に対する防災学習」を支援することが決まり、宮本、坪井、法田の各中学校で1年生を対象にDIG（図上訓練と現地調査）、応急救護訓練を担当することになりました。船橋市とのこの協力関係は現在まで続いています。

2011年東日本大震災発生時の活動

3.11 東日本大震災に際して支部としての活動を協議し、船橋駅南口での義援金の募金活動を行い中央共同募金会を通じて被災者支援資金として寄贈しました。



船橋駅頭での救援募金



また 2 名の会員が現地に入り実家などの安否確認と救援活動を行いその生々しい模様の一部が会報で紹介されています。

会員数の増加

設立時の 27 名から 2 年後の 2011 年 7 月には 47 名に増加しました。ただ支部活動への参加者がなかなか増えない悩みがありました。その後ゆるやかに増え 2013 年に 60 名に達した後はほぼ平行線をたどって来ましたが北部支部の地道な活動への評価が徐々に浸透してきたことと、2016 年に北部支部ホームページを立ち上げて広報活動を活発化したことなどにより、会員数は 2017 年末には 100 名に達し 2019 年 3 月時点で 133 名を数えるまでになりました

活動件数の増加

2009 年設立時には年数件の活動でしたが、2013 年頃より自治会からの防災出前講座の要請が来るようになり更に福祉施設、企業などからも同様の要請が届き始めました。2015 年に青木信夫防災士が購入した起震車と心肺蘇生訓練用器具が活動に提供されるようになるとその効果も大きく加わり防滅災活動への支援要請は増加の一途をたどりました。ちなみに 2017 年度の対外活動回数は前年比で約 20%増加し 127 回を数えました。



地震体験と心肺蘇生訓練

支部体制の刷新

2015 年の支部定期総会で、支部設立後 6 年間にわたり初代支部長として支部の基礎作りに邁進した小村貴司支部長が退任し中村誠防災士が第 2 代支部長に選任されました。支部活動を①スキルアップ研修、②総務、③広報の主要 3 部門にわけ支部役員（幹

事) が分担する体制が作られました。総会開催に先立ち青木防災士がこの年の 2 月に購入した起震車の披露と試乗が行われ今後の支部活動への寄与が大いに期待されました。

大学祭への初参加

2015 年には千葉市に本部を置く放送大学の千葉学習センター主催の学園祭、浦安市に本部を置く明海大学の浦安キャンパス主催の学園祭からそれぞれ参加要請があり両大学学園祭への参加協力が行われました。防災行事以外の一般行事に参加しての防災意識の啓発活動には、特に起震車が大きな力(関心喚起)を発揮することがわかりました。首都圏支部や BCN (防災コミュニティネットワーク)、技術支援チームなどとの共同ワークを経験し以後の幅広い活動展開に活かされています。



明海大学祭に参加

2016 年 8 月に臨時総会が開催され、①正会員を防災士に限ることなく防災士と同等の知識・技能を持つ人を正会員とする、②賛助会員制を導入する、③活動地域を「原則千葉県とし県外での活動を妨げない」こととする、などの会則改正案が提案され承認されました。支部活動の量と地域の拡大に柔軟に対応するための改正でした。また支部ホームページがこの年開設され北部支部への認知と活動への評価が一層高まることが期待されました。



世田谷区「防火・防災の集い」での活動

会員の活躍

- 2014 年度の「千葉県地域防災力向上知事表彰」に習志野市吹上苑町会自主防災会（故藤下進防災士が所属）と本一町会自主防災部（筒井義臣防災士が所属）とが選ばれました。
- 2014 年度、2015 年度の船橋市の防災女性モニターとして青山久子防災士が選ばれてグループ活動を行いました。女性の視点を防災に生かすことを目的にした船橋市の試みで 2014 年度は女性の視点からの「防災備蓄品」の提言、2015 年度は「パパママ子育て防災手帳」を完成させました。
- 2015 年度の「防災まちづくり大賞」（総務省消防庁主催）に習志野市の本一町会自主防災部（筒井義臣防災士が所属）が、2016 年度には同じく習志野市の吹上苑町会自主防災会（故藤下進防災士が所属）が選ばれました。
- 2016 年度には平山優子防災士が船橋市の防災女性モニターに選任され、女性防災リーダーの育成と支援が急務であることを船橋市長に提言しました。2017 年度と 2018 年度には白川恵防災士が女性モニターに選任され活動しました。
- 2016 年度には日本防災士機構の「防災士功労賞」に青木信夫防災士が選ばれました。青木防災士が起震車などを駆使して長年防災啓蒙活動を続けて来たことに対する顕彰でした。
- 2018 年 9 月に野田市で発生した火災事故に際して小椋養一防災士が率先して被災者の援助活動に邁進し関係諸機関と被災者から多大な感謝を受けました。
- 2018 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震に際して、たまたま防災活動で現地にはいた谷正美防災士と藤田隆雄防災士が札幌市内での救援活動に率先して参加し、避難所立ち上げと運営指導に大きな役割を果たしました。
- 2019 年 3 月に船橋市消防局長より平山優子防災士に対して感謝状が贈られました。長年の応急手当指導員としての一般市民への普及啓蒙活動に対する評価です。



「防災士功労賞」授賞式（右端青木防災士）



胆振東部地震で避難所立ち上げ
（藤田防災士）

支部新体制の試み

2018年5月の定期総会において、増加する活動の負担が一部の会員に集中しないようにし活動参加者を増やすための試みとして地域単位での活動が推進しやすいよう、支部内の主要地域に副支部長を配置する提案があり承認されました。これにより新たに6名の副支部長が誕生しました。支部体制刷新による対応力の強化に加えて、支援要請に対する受託基準の見直しと決定プロセスを明確にし、限られたマンパワーと時間の中でより効果的な支援活動が出来るよう検討協議が進められています。

新しい発想

2018年に北部支部に二つの新しい部が誕生しました。

- 女性部

女性が防災に加わることの重要性がますます認識されていることから、女性の視点から防災を考え啓発活動を進めて行くことを目的として作られました。平山優子防災士を中心に進めています。

- アマチュア無線部

近年の災害経験を通して災害時における通信手段としてのアマチュア無線の有用性が認識されていることから作られました。無線資格を持ち日本アマチュア無線連盟東京都支部の防災会議委員をつとめる熊澤晃防災士を中心に進めています。

結び

支部設立満10年を迎えて北部支部も新たなステージに発展するための変化を模索する段階にあることを感じます。「会員それぞれが地域に根ざした防災活動が出来ることを目的に活動を開始する」という支部設立の原点を再確認し、防災リーダーの育成による地域防減災力の向上を私たちの足元から実現してゆきたいものです。そして行政と連携しながら地区防災計画の推進へと歩を進めて行くことが次のステップになります。



～お知らせ～

● 平成 31 年度の北部支部定期総会

日時：4月20日（土）15時30分開会
会場：船橋市中央公民館（4階第6、7会議室）



● 北部支部設立 10 周年記念行事

日時：6月1日（土）14時開会～16時閉会
会場：千葉市文化センターアートホール
内容：記念講演「国難に備える！～巨大災害に立ち向かう民間防災の力～」
講師：関西大学特任教授・防災未来センター所長
河田 恵昭氏

～新会員の紹介～

2018年12月末以降、以下の方々が北部支部の会員になりました。
北部支部の会員数は133名です。（2019年3月10日現在）

宮前 治さん（船橋市）	浅野 昭さん（船橋市）
布留川浩一さん（茂原市）	辻 克枝さん（市川市）
廣井佳枝さん（市川市）	岩澤 進さん（山武市）
高安修藏さん（袖ヶ浦市）	山田弘明さん（大網白里市）



♪ 北部支部会員さん紙上インタビュー ♪

中村あや子（なかむら）さん



右が中村さん

Q.出身地と自己紹介を簡単にお願いします。

A.フーテンの寅さんで有名な東京葛飾柴又です。

Q.これまでのキャリア（お仕事など）を教えてください。

A.結婚前は団体職員として事務職でした。現在は野田市の市議員です。

Q.特技、お持ちの資格、得意分野を教えてください。

A.特にありません。強いて言えば中学校、高校時代に合唱団に所属していました。

Q.防災士になられたきっかけはなんですか？

A.阪神淡路大震災の時は主人の仕事の関係でシンガポールに赴任していました。NHKのニュースを見て衝撃を受けました。日本は地震大国で、少しでも知識を身につけて皆さんお役に立てたらと思ったのがきっかけです。

Q.地域等で何か防災活動に取り組んでおられますか？

A.市議員として市の防災対策を推進しています。

Q.2011年東日本大震災の時にはどのような体験をされましたか？

A.専業主婦でした。小学校5年生の娘を引き取りに学校に行きました。

Q.今はまっていること、熱中していること、趣味などがありましたら教えてください。

A.趣味は読書です。そして猫の写真をながめることが好きです。

Q.北部支部の活動に期待すること、取り組んでみたいこと、ご意見などがありましたらお聞かせ下さい。

A.いつも皆さんの活動を尊敬しています。

地区防災計画の推進を支援していただきたいと思います。

Q.将来の夢をお聞かせ下さい。

A.現役引退したら通信制大学生として勉強したいです。



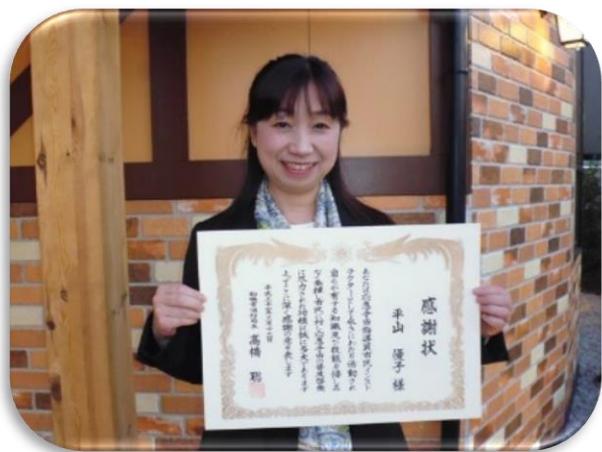
防災フェアにて

～会員短信～

3月12日（火）平山優子防災士に対して船橋市消防局長より感謝状の贈呈が行われました。平山さんの永年にわたる消防業務への貢献に対するもので、応急手当指導員としての一般市民への熱心かつ丁寧な普及啓発活動と、日頃のたゆみない知識習得・技能向上の努力が高く評価されました。北部支部としても大変に喜ばしく名誉なことであり一層の励みとなります。

平山防災士のコメント

「この表彰は私にとって身に余る栄誉であるだけでなく、自分の活動を振り返る良い機会にもなりました。『家族を守るため、その時、自分で判断し行動できる人になりたい!』という思いが活動のきっかけでした。たくさんの方々から多くのことを教わり、さまざまな経験をさせていただきました。今後も市民インストラクターとして応急手当普及啓発に頑張ってまいります。」



～北部支部の防災支援活動(2018年12月～2019年2月)～

北部支部は以下の防災行事に参加協力しました。
ご協力大変にありがとうございました。

- 12月1日(土) 野田光葉町自治会防災訓練(野田市)
- 12月2日(日) 茂原市指定避難所運営等検討会
- 12月14日(金) 習志野市立実籾小学校妊婦・車椅子体験
- 12月16日(日) 野田市船形下自治会防災訓練
- 12月19日(水) 習志野市立実籾小学校防災調査学習発表会
- 12月26日(水) NPO 法人キッズパレット防災体験(袖ヶ浦市)
- 1月26日(土) 防災フェアふなばし(船橋市)
- 1月27日(日) 和田地区防災講習会(佐倉市)
- 1月31日(木) 千葉県公民館連絡協議会研修会(千葉市)
- 2月2日(土) 山武市防災勉強会
- 2月3日(日) 野田市宮崎第3自治会防災講演
- 2月8日(金) 野田市なごみの会防災講演
- 2月9日(土) 山武市防災勉強会
- 2月17日(日) 白井市七次台小学校区研修会
- 2月22日(金) 松戸市教育委員会生涯教育講演会
- 2月26日(火) 習志野市立実籾小学校6年生 HUG

編集後記

北部支部設立10周年を記念し支部10年の歩みを紹介する本号となりました。設立に携わられた先輩諸氏の多くの方々が現在は既に支部にはおられません。今昔の感を深くするとともにそのご苦勞に心より感謝を申し上げたいと思います。今もお元気でおられることを念じつつ現在の私たちに課せられた責任と使命の重さをかみしめる思いです。



広報担当：茂木 宏 飯岡 孝 中村あや子
事務局の連絡先：竹内哲志 (takeuchi.srmmp@nifty.com)
広報担当の連絡先：koho.chibakita.bousaisi@gmail.com